

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/11/20号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ゴールド1930ドルで底打ち、ふたたび上昇へ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



前々週まで続いていたゴールドの下落、ようやくとりあえずの底値を確認したようです。1930ドルで反転、金曜日には一時1993ドルまで上昇しました。その大きなきっかけになったのが、CPIの低下です。火曜日に発表された10月のCPIは3.2%と市場予想の3.3%、そして先月9月の3.7%よりも低い数字となり、インフレの低下が予想以上に進んでおり、これにより残されたもう一度の金利上げはもはやないという見方が市場に広がり、長期金利は急低下、ゴールドは上昇、ドル円は急激に円高へと動きました。FedWatchでは12月及び来年1月の金利据え置き可能性は100%（100%という確率は初めて見ました）となり、その先も金利上げという選択はなくなり、5月には0.25%下げの可能性が一番大きくなっています。長期金利は5%で天井打ちという見方がやはり正しかったようです。ドル金利の低下、ドルの下落はゴールドにとっては強材料。それに加えて世界のドル離れ（de-dollarization）の動き、ウクライナそしてイスラエルにおける地政学リスク、そしてどんどんその比重が重たくなってきている米国と世界の負債の問題です。米国の国債発行は2008年からほぼ5倍に増えており、現在は25兆ドルを越えています。今会計年度の赤字支出は1.7兆ドルとなり、連邦政府の債務は33兆ドルを超えました。6月に債務上限を一時的撤廃してから2兆ドル近くという大きく加速してその債務が膨らんでいます。この債務の増加にもかかわらず米政府はまるでブラックホールに資金が吸い込まれるようにグリーンエネルギー政策に資金をつぎ込んでいます。この米国の財政状況は今後より深刻になっていくものでしょう。とすれば今後の国債の値下がりからの悪い金利上昇が今後はあり得ます。ゴールドの「安全資産」としての価値はより上がるのではないのでしょうか。中国のみならずシンガポールがゴールドを買っているのは、この米国のドルのリスクを意識しているからでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

前回シルバーがここまで売られる理由がわからない、長期的な投資としてシルバー割安レベルは買っておいたほうがよいでしょう、と書きましたがまさにそのとおりになりました。シルバーは週初の22ドル割れから大きく上昇、一時24ドル超える場面がありました。金銀比価も87から一時82台まで下落。ようやく自立背反というところでしょうか。



「プラチナの現状」

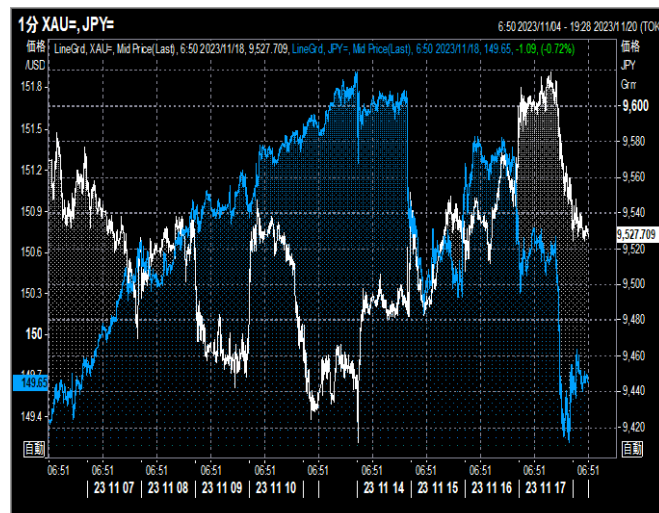
プラチナ900ドルのサポートを割り込みましたが、900ドル割れでは買いもあり、週末には900ドルを回復して一週間が終わりました。先週も書いたように900ドル割れは長期的ポジションとして拾っていいのではないかと思います。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

